

## 安定出荷に向け、面積拡大と技術の向上を図る

### 野菜販売実績検討会

JAは11月9日、野菜販売実績検討会を開きました。園芸の各部会代表、市場、関係機関など45人が出席。今年の生産・販売状況を振り返り、来年に向けて意見交換を行いました。市場関係者からは出荷数量の拡大、安定供給などの要望が挙げられました。JAトマト部会の小野寺勝義部会長は「天候の影響に左右されず安定出荷ができるようにしていきたい」と意欲を示しました。



来年の生産・販売に向け活発な意見交換

## 畜産振興に向け意見交換

### 畜産事業懇談会

JAは11月15日、畜産事業懇談会を開きました。酪農、和牛、肥育牛の各生産部会の代表者や関係機関など約70人が出席。畜産にかかる情勢を確認し、今後の畜産振興方策について意見交換をしました。生産者からは「将来を見据えた生乳出荷経費節減」「和牛の増頭対策」「いわて南牛の地元での販売強化」などの意見や要望が挙げられました。懇談会に先だち行われた畜霊祭では、牛魂碑を前に家畜への感謝と畜産振興を祈念しました。



畜産業発展に貢献した家畜に感謝した畜霊祭



活発な意見交換が行われた懇談会

## 農林業・農村社会の発展に貢献した6組を表彰

### 一関地方農林業振興大会

一関地方農林業振興協議会は11月14日、一関地方農林業振興大会を開きました。農林業従事者や関係者約330人が出席。一関地方の農林業と農村社会の発展に寄与している3部門6組が表彰されたほか、受賞者による事例発表が行われ、参加者は地域農林業の振興発展に決意を新たにしました。

受賞者は次の通り。(敬称略)▽担い手部門賞=及川恵吾(花泉町)、石川英希(藤沢町)、農事組合法人プロファーマ(中里)▽いきいきむらづくり部門賞=北の沢集落(弥栄)、大平集落(千厩町)▽明日を拓く担い手部門賞=菅原慎也(巖美町)



受賞者6組による事例発表

## 畜産情報

※黄色の網掛けはトップの支部。(単位:円、ただし高値・安値は千円)税込みです。

支部	雌				去勢				合計		
	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	平均価格	前回比(%)
一関	16	968	455	674.460	9	985	783	861.480	25	741.787	103.1%
花泉	32	805	450	670.916	37	1,070	660	884.170	69	785.270	101.0%
平泉	10	757	471	642.168	3	818	762	796.320	13	677.742	91.8%
千厩	25	841	456	627.178	17	997	620	885.918	42	731.906	100.3%
藤沢	7	850	487	695.211	5	997	674	837.432	12	754.470	111.0%
大東	16	861	448	692.280	25	1,273	692	887.976	41	811.607	110.7%
東山	9	815	544	723.720	13	1,200	805	964.357	22	865.915	108.2%
室根	8	873	610	740.745	18	1,017	484	789.000	26	774.152	100.2%
川崎	2	831	680	755.460	3	972	603	823.320	5	796.176	106.0%
合計・平均	125	968	448	674.041	130	1,273	484	873.172	255	775.559	103.3%

11月市場の最高販売額の血統構成

雌 父:菊福秀  
母の父:安福久  
祖母の父:第1花園(一関)

去勢 父:美国桜  
母の父:安福久  
祖母の父:金幸(大東)



県南子牛市場

11月9日

## 関西のスーパーでいわて平泉米をPR

### いちのせき米クラブ



試食を勧めながらいわて平泉米をPR



管内の米生産者で組織する「いちのせき米クラブ」とJAは11月17からの4日間、関西で管内産米のPRを行いました。

一行は大阪にある津田物産株式会社の本社を訪ねました。いちのせき米クラブの栽培米を含む管内産米の販売について感謝の気持ちを伝え、今後の取り組みや販売状況について意見交換を行いました。

また、大阪に店舗を構えるいずみ市民生協の4店舗で販売キャンペーンを行いました。試食を勧めながら来店客にいわて平泉米をPRしました。同行したJA米穀課の阿部晋課長代理は「確実にリピート客はついており今後の販売拡大が望める。今後は複数年契約を目指し、商品の定番化に取り組んでいきたい」と意気込みました。



購入者に管内産リンゴをプレゼント

## 生産資材価格動向について

生産資材の原料の多くは海外からの輸入に頼っていることから、外国為替・原油価格・海上運賃などが大きく影響してきます。以上のことを踏まえ、生産資材の価格動向をお知らせいたします。

### 1 肥料 (H 29.11月～H 30.5月の価格)

平成30年用の春肥価格は窒素質が小幅下げ、その他はほぼ据え置きとなりました。前期の秋肥価格が値上がりしていましたので、29年用春肥との比較では尿素で約9%、リン酸で約2%、加里で約10%、高度化成で約4%の値上がりとなる状況です。

### 2 飼料 (配合飼料、H 29.10月～H 29.12月価格)

トウモロコシ・大豆粕などの値下がりです約400円/トンの値下げ。ただし、大麦の値上げ影響から、肉牛用は約300～500円の値上げになっています。粗飼料は、米国产の全種類がほぼ平年並み、カナダ産チモシーは豊作、豪州産オーツは収穫中ですが、若干の不作予想となっています。

ます。品質はいずれも上級率が高く米国内需要も盛んで、中国・韓国などからの引合いが強いため強含みの状況にあります。

### 3 農業 (毎年1月に改定)

海外生産拠点の環境規制強化、原料等の値上がりによるコスト増加で各社から値上げを要請されました。約1400品目のうち、40品目が値上げ、6品目が値下げとなりました。値上げ品目の大半は銅剤(Zボルドー・カスミンボルドー・ヨネポン乳剤など)となっています。

### 4 保温包装資材

被覆資材は、原油価格動向が影響します。11/24時点で1バレル40～60ドルと安定した相場となっています。海外情勢の変動でも影響するので予測は困難ですが、末端価格の反映まで時間がかかるので現況での推移と捉えます。

段ボール資材は、原料の古紙価格高騰で今秋より各社で値上げしています。来春の末端価格は約10%の値上がりとする予想されます。

生産資材ひろば

## 指導員紹介



畜産課 酪農担当

皆川 孝之

部会活動を中心に安全・安心で良質な生乳生産に取り組んでいます。畜産農家が年々減ってきている中、生産者が安心して畜産経営できるように頑張ります。

	格付	雌			去勢			上物率 (格付4等級以上)
		枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	
JAいわて平泉販売分	5等級	426	2,621	1,117,266	528	2,637	1,391,820	90.3%
	4等級	470	2,459	1,155,065	502	2,367	1,187,902	
	3等級	416	1,869	777,504	514	1,585	814,603	

販売頭数62頭

※枝重、単価、販売額は平均値

JAいわて平泉集荷月間最高販売牛 血統紹介

\*雌の部 美津百合×勝忠鶴×紋次郎 A 5 446 kg 2,873 円  
\*去勢の部 美津照重×百合茂×安平 A 5 631 kg 2,752 円



和牛枝肉販売成績

11月